

# MCCIR

vol. **23** 株式会社メガチップス  
2015年3月期のご報告

2014年4月1日～2015年3月31日

**p4** 社長が語る業績と戦略

戦略投資から成長軌道へ。  
グローバル市場への挑戦を  
続けていきます。

**p8** Close Up メガチップスのASSP製品紹介

Sensor Hub(センサハブ) LSI [frizz]



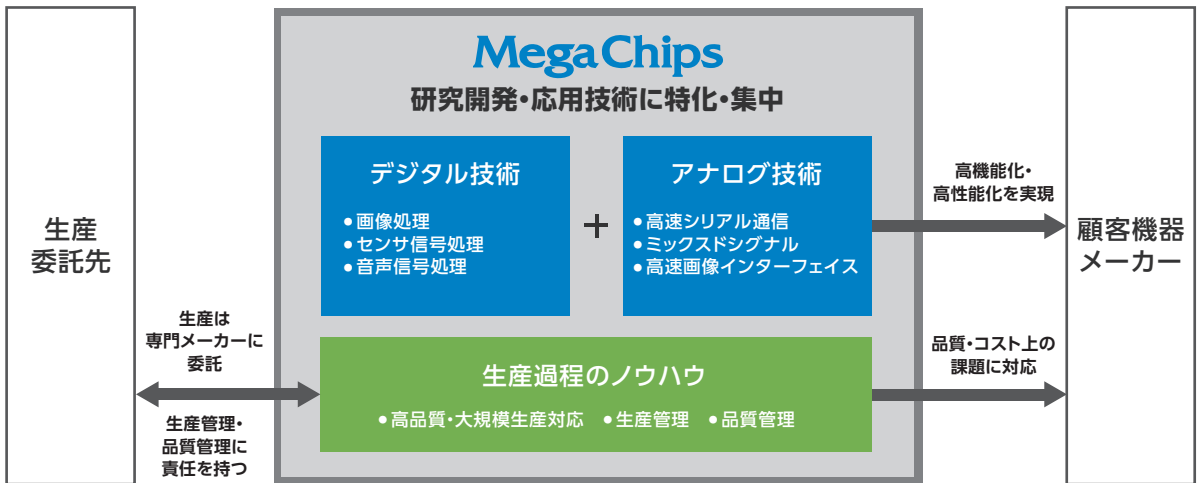
## 「画像」「音声」「通信」分野のコア技術を活かしたシステムソリューションを提供するグローバルファブレス企業として

メガチップスは、1990年に日本初のファブレスLSIメーカーとして創業し、数々の世界初、業界初を生み出してきました。経営資源を先端のアルゴリズム研究とLSI化ソリューション開発に集中し、「画像」「音声」「通信」分野において、顧客のニーズに応える独創的な技術・製品をタイムリーに投入することで、国内外の顧客から高い評価を獲得しています。デジタル技術から

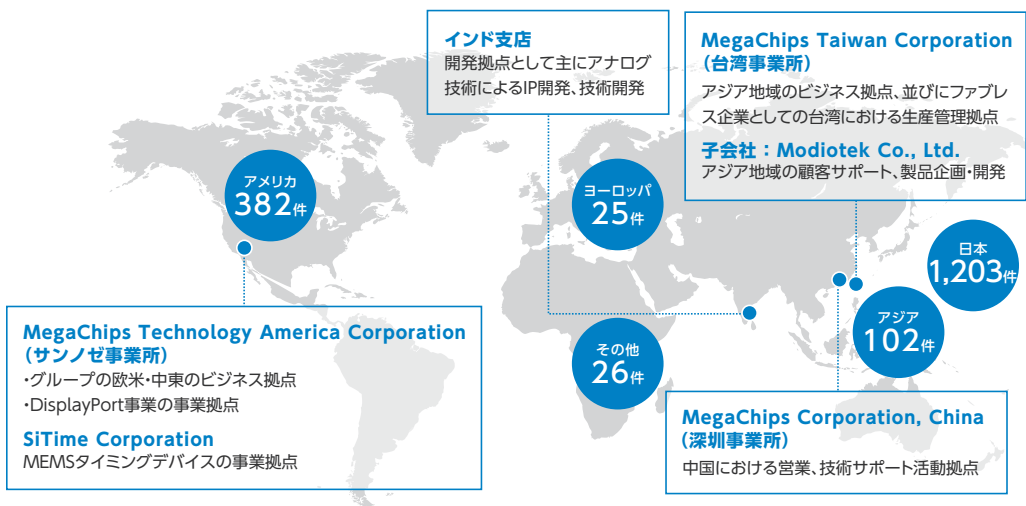
アナログ技術まで、数多くの特許を申請・取得し、IP（設計資産）として蓄積することで差別化を実現し、競争力の源泉としています。

メガチップスは、今、海外拠点の体制強化を通じて、世界の有力顧客へ独自性の高いソリューションを提供するグローバルファブレス企業として、さらなる成長に向けた挑戦を進めています。

### メガチップスのビジネスモデル



### グローバルネットワーク / 特許登録件数および出願中件数(2015年3月末現在)

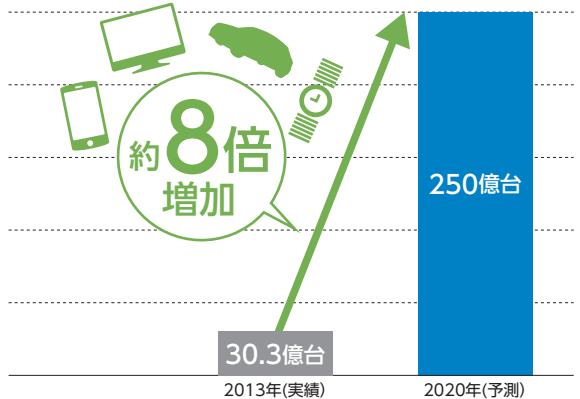


# モバイル／IoT分野の多様なアプリケーションへ キーデバイスをプラットフォームとして提供します

パソコンやスマートフォンに加え、ウェアラブル機器や車載器、医療機器、産業機器など、あらゆるモノがネットワークにつながる時代に向け、メガチップスは、強みを持つローパワー設計、画像・信号処理、通信技術を駆使し、IoT時代の機器開発に不可欠なキーとなるLSIをASSP(特定用途向けLSI)製品として提供していきます。

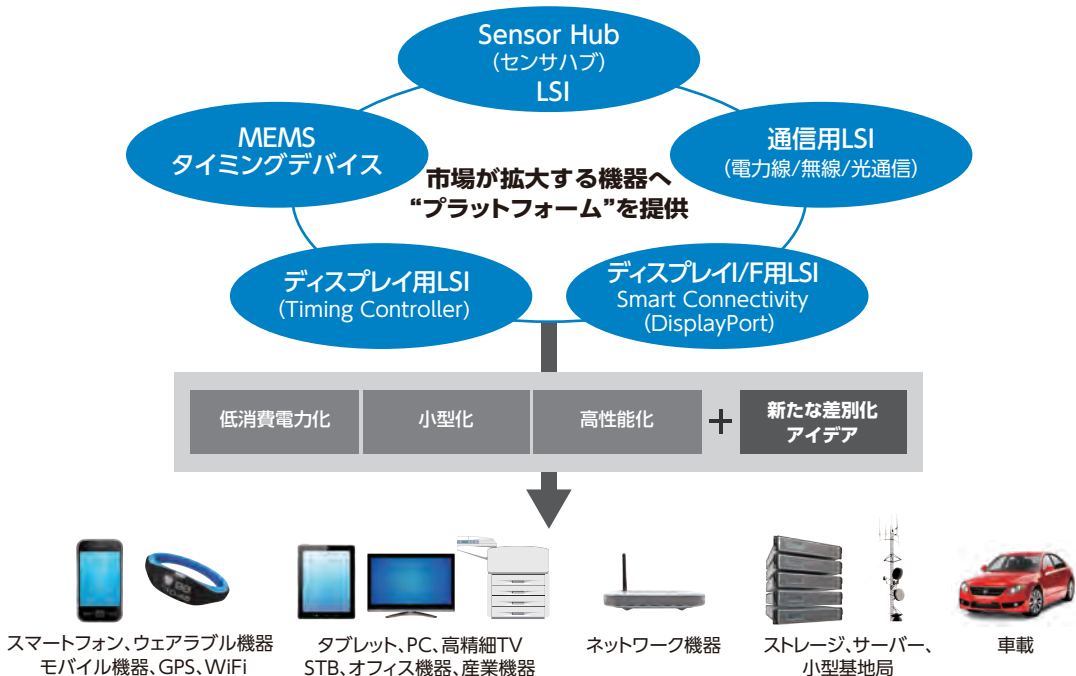
メガチップスは、今後も研究開発を加速し、顧客の製品開発を支援する“プラットフォーム”の強化を通じて、世界の先端機器のマーケットを開拓していきます。

## IoTでつながるモノの数(予測・グローバル)



出典: グラフ/図はガートナー・リサーチに基づきメガチップスが作成。  
Gartner "Forecast: Internet of Things, Endpoints and Associated Services, Worldwide, 2014" 20 October 2014\*

## メガチップスのASSPソリューション



### 用語解説 ファブレス

ファブレス (Fabless) とは工場を持たないビジネスモデルを指す。商品企画、開発設計、営業活動に特化し、製造を外部に委託するメーカーのこと。

### ウェアラブル機器

ウェアラブルの意味は「身につける」。つまり腕や頭などに装着し、各種情報を記録・送信する端末のこと。腕時計型やリストバンド型、メガネ型などがすでに登場している。

### IoT

[Internet of Things]の略。情報・通信機器をはじめ、日用品、家電、建物、クルマなど、世の中のさまざまな“モノ”をネットワークにつなぎ、相互に通信・制御する仕組みや技術のこと。

※ ここに述べられたガートナーのレポート(以下「ガートナーのレポート」)は、ガートナーの配信購読サービスの一部として顧客向けに発行されたデータ、リサーチ・オピニオンもしくは視点を表したものであり、事実を表現したものではありません。ガートナーの各レポートは、レポート発行時点における見解であり、この目録見書発行時点のものではありません。またガートナーのレポートで述べられた意見は、事前の予告なしに変更されることがあります。

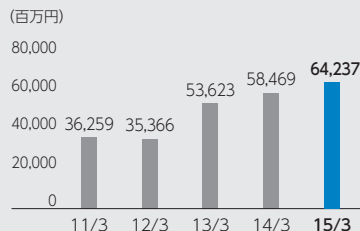
株式会社メガチップスおよび連結子会社3月31日に終了した連結会計年度

	2011/3	2012/3	2013/3	2014/3	2015/3
<b>会計年度(単位:百万円)</b>					
売上高	36,259	35,366	53,623	58,469	64,237
売上原価	29,731	28,687	40,568	43,348	45,263
営業利益	3,055	3,033	3,962	4,173	4,895
当期純利益	2,288	2,127	4,044*1	4,725*2	1,251
<b>会計年度末(単位:百万円)</b>					
総資産	29,203	29,247	44,075	44,867	77,830
純資産	25,453	24,977	27,595	31,816	32,355
<b>1株当たり情報(単位:円)</b>					
当期純利益	94.64	88.80	170.23	202.40	55.64
純資産	1,060.19	1,042.70	1,181.89	1,362.64	1,438.09
期末発行済株式総数(単位:株)	24,038,400	24,038,400	24,038,400	24,038,400	24,038,400

\*1 2013年3月期は、川崎マイクロエレクトロニクス(株)(以下、川崎マイクロ)の全発行済株式を取得した際、取得時の時価純資産額が取得価額を上回った額14億6百万円を“負ののれん”として「特別利益」に計上しています。

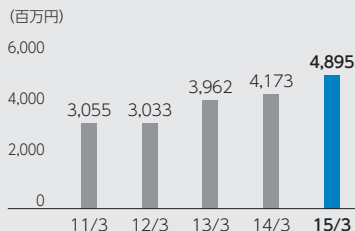
\*2 2014年3月期は、川崎マイクロの吸収合併に伴い、承継した税務上の繰越欠損金等で回収可能性の認められるものについて繰延税金資産を計上し、これにより発生した税額調整(利益)23億7千4百万円を「法人税等調整額」に含めて計上しています。

売上高



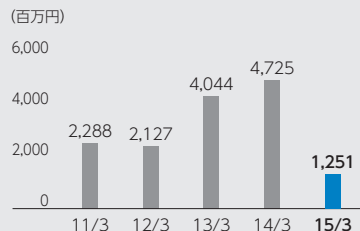
642億円 前年同期比 9.9%増

営業利益



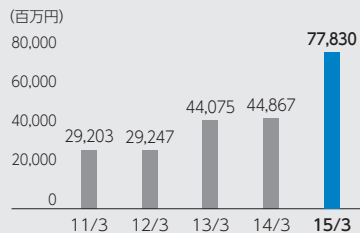
48.9億円 前年同期比 17.3%増

当期純利益



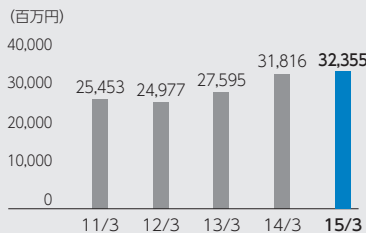
12.5億円 前年同期比 73.5%減

総資産



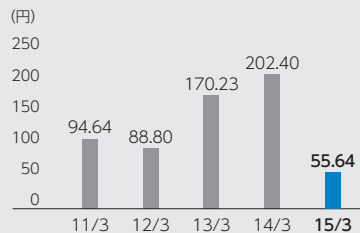
778億円 前年同期比 73.5%増

純資産



323億円 前年同期比 1.7%増

1株当たり当期純利益



55円 前年同期比 72.5%減

Contents

- 1 プロフィール
- 2 財務ハイライト
- 3 社長が語る業績と戦略
- 4 Close Up メガチップスのASSP製品紹介
- 5 研究開発
- 6 決算レポート
- 7 会社情報/役員構成
- 8 株主様ラウンジ

見直しに関する注意事項

当報告書の記載内容のうち、歴史的事実ではないものは将来に関する見直しおよび計画に基づいた将来予測です。これらの将来予測には、リスクや不確定な要素などの要因が含まれており、実際の成果や業績などは記載の見直しとは異なる場合がございます。





戦略投資から成長軌道へ。  
グローバル市場への挑戦を  
続けていきます。

代表取締役社長 **高田 明**

#### 業績の概況

**戦略的な投資を実行しつつ  
売上高、営業利益は  
過去最高を更新しました。**

2015年3月期の当社は、基盤事業であるゲーム機器、デジタルカメラ、事務機器、液晶パネル、通信機器などの各分野向けLSI事業を強化するとともに、2014年2月にSTマイクロエレクトロニクス社から買収したSmart Connectivity (DisplayPort) 事業の推進、**2014年4月の台湾Modiotek社獲得による中国・台湾のアジアマーケットにおけるマーケティング、顧客サポート体制の強化、2014年11月の米国SiTime社の買収によるIoT分野でのASSP (特定用途向けLSI) 製品の充実化など、グローバル事業の拡大をこれまで以上に加速させました。**

こうした取り組みの結果、2015年3月期の業績は、デジタルカメラ向けLSIの出荷数量が増加したほか、事務機器向けLSI、通信向けLSIおよび液晶パネル向けLSIの需要が堅調に推移しました。新たに獲得したSmart Connectivity (DisplayPort) 製品の需要も業績に寄与しました。また、米ドルおよび台湾ドルの為替レートが円安で推移したことなどにより売上高が

増加した一方、積極的なグローバル事業展開に向けた先行投資により営業費用が増加しました。

**売上高は642億3千7百万円(前年同期比9.9%増)、営業利益は48億9千5百万円(同17.3%増)となりました。一方、海外子会社との連結において為替差により押し上げられた営業利益の調整を主として、為替差損が11億7千2百万円発生したことなどにより、経常利益は34億円(同20.5%減)、海外子会社における買収事業に関わる先行投資負担が発生したことにより当期純利益は12億5千1百万円(同73.5%減)となりました。**なお、前期の当期純利益は、合併による繰延税金資産の計上に伴う税額調整により、23億7千4百万円の利益が高上げされています。

#### 2015年3月期の業績(単位:百万円)

	2015年3月期 実績	2015年3月期 期初予想
売上高	64,237	63,000
営業利益	4,895	3,200
経常利益	3,400	3,100
当期純利益	1,251	1,700

## 2016年3月期の中期経営方針

### ASSPを中心とした新製品開発、 海外体制の強化を継続し、 中長期的な体質強化を目指します。

今後、あらゆるモノがネットワークにつながる(IoT)社会が発展し、世界の半導体需要も拡大していくとされます。当社グループはこうした動きを成長の機会と捉え、高い技術力をベースに独創性のあるソリューションを幅広く提供することで、これまでにない新しい価値を創造し、人々が幸せを実感できる豊かな未来社会づくりに貢献したいと考えています。

このビジョンを実現するため、当社グループは大きく変わります。これまでの基盤事業であった、主に国内優良顧客向けのASIC(特定顧客向けLSI)事業に加え、競争力を持つASSP(特定用途向けLSI)事業を大きく伸ばし、モバイル、ウェアラブル機器を含むIoT分野の成長機器市場において、有力なグローバル顧客を対象としたビジネスを推進します。

当社グループのASIC事業は、ゲーム機器、デジタルカメラ、事務機器、通信機器などの各分野における

国内外の有力顧客に向け、個々のアプリケーションに最適な顧客専用LSIを提供してきました。その競争力は、顧客のアプリケーションに関する深い理解と独自のコア技術をもとに、アルゴリズム・アーキテクチャの開発から性能・コスト競争力に優れたシステムLSIの設計・開発・供給に至るまで一貫したサポート体制で提供できることにあります。

しかしながら当社グループは、市場や社会の変化を踏まえ、さらなる成長を遂げるためにはASIC事業だけに依存しない事業ポートフォリオの再構築が不可欠であるという考えのもと、ASSP事業の本格的な拡大に着手し、IoT・ネットワーク分野を中心に今後の成長が見込める機器向けのプラットフォームを構成するASSP製品の拡充を図っています。

その一環として、Smart Connectivity (Display Port)事業のDisplayPort規格を主導するキーマンを含めたチームを買収しました。DisplayPortは、多用途性、拡張性、広帯域A/Vデータ伝送などの機能を要求する映像インターフェイス規格で、高度なA/V機能を必要とするコンピュータ、モバイル機器のユー

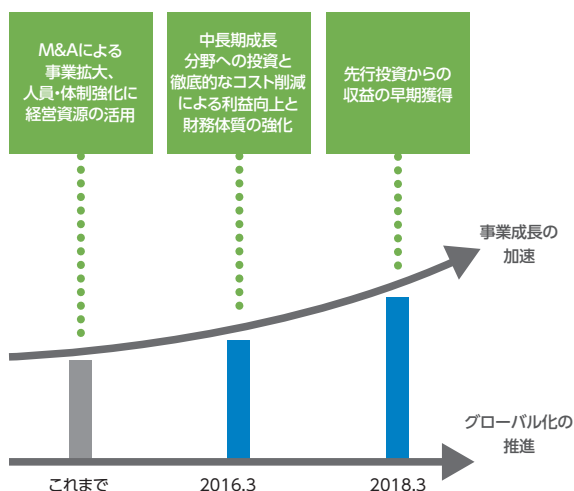
## 2016年3月期中期経営方針

成長機器市場をターゲットにして、有力なグローバル顧客を対象としたビジネスに経営資源を集中し、中長期の成長を加速させる。

- ①モバイル、ウェアラブル機器を含むIoT分野向けに、特定用途向け(ASSP)製品を中心に、プラットフォームを構成する製品の拡充を図る。
- ②応用(アプリケーション)とマーケティングを強化し、顧客サービスの充実を図ることで、有力グローバル企業とのビジネス関係を拡大する。
- ③営業利益率の向上と高成長・高収益体質への転換を図り、財務基盤を強化するとともに、会社の経営状況を勘案した上で、積極的な利益還元に努める。

## 中期的な事業成長イメージ

### モバイル、ウェアラブル機器を含む IoT分野向けに経営資源を集中



ザーにとって非常に重要な技術です。

また、米国SiTime社の買収により、あらゆる電子機器に用いられるタイミングデバイスに、シリコンによるMEMSタイミングデバイスを提供。水晶振動子による既存品を凌駕する精度と信頼性、小型化、低消費電力、高耐衝撃性、大幅な製造リードタイムの短縮、低コストを実現します。

ASSP新製品「Sensor Hub (センサハブ) LSI」は、従来の20分の1という低消費電力でありながら、建物内のインドアナビ(GPSの電波が届かない場所)で高い性能を発揮するLSIです(→P.8参照)。Sensor Hub LSIは中国のスマートフォン・ウェアラブル市場に提案し、すでにウェアラブル製品に搭載が決まったほか、商談も増加しています。また、「ローパワーのSubGHz帯無線」は、IoT、センサネットワークの通信として最適であり、BEMS(ビルエネルギー管理システム)市場向けに採用が決定しています。

一方で、**成長機器市場における有カグローバル企業とのビジネス関係をさらに拡大するため、人材の育成とグローバル化を推進します。**特にアプリケー

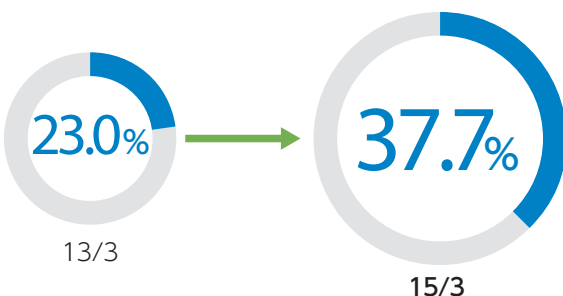


ション技術とマーケティングの人材育成を強化し、現地顧客が求めるニーズの発掘、技術・ソリューションの開発、サポート体制の充実を図ります。これは、ASSPの大きな市場である台湾・中国において、現地に即した技術サポート、販売体制が生命線になると認識しているためです。すでにアジアでの人材獲得を主な目的として台湾Modiotek社を買収し、当社の技術・マーケティングノウハウとのシナジーを図っています。

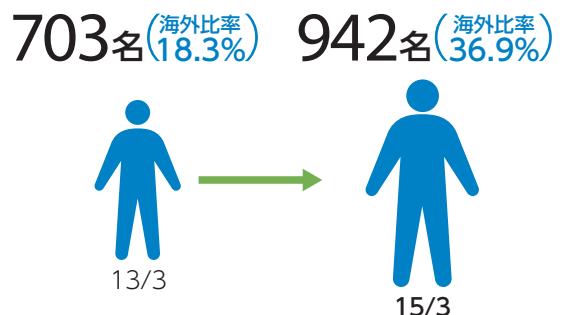
このように、**製品開発および人材・体制の両側面から、グローバルで勝ち残れる企業を目指すとともに、中長期的な成長を見据えた営業利益率の向上と高成長・高収益体質への転換を図ります。**

## グローバル化の進展

海外売上高構成比(連結)



従業員数(連結)



### 用語解説



#### タイミングデバイス

圧電現象を利用して一定の周波数を生み出すデバイスで、電子機器に正しい時間と速度で情報を送ります。

#### Sensor Hub (センサハブ) LSI

スマートフォンやウェアラブル機器には加速度センサ、ジャイロセンサなど複数のセンサが搭載されています。これらのセンサからの信号を常時受信し続け、統合してデータ処理を行うLSIがSensor Hubです。複雑な処理を超低消費電力で行うことが要求されます。

#### SubGHz帯無線

今後の普及が進むIoT分野に対して、新たに920MHz(SubGHz)帯の電波が免許不要で使用できるようになりました。メガチップスはこのSubGHz帯の無線通信LSIを開発。センサデータや機器を動かすコマンドの送受信など、IoT通信にご利用いただけます。

## 2016年3月期の業績見通し

モバイル・IoT分野のASSP事業に注力し、2期連続の過去最高売上高更新を見込んでいます。

2016年3月期は、当社グループの事業構造改革を成し遂げASSP事業を成長軌道に乗せるため、中期経営方針に則った活動を継続的に推進していきます。構造改革の柱であるASSP事業の売上高比率は2012年3月期がほぼゼロであったものを売上高の大幅な成長を伴いながら2016年3月期には約4割、2018年3月期には5割を超える比率にまで伸ばす所存です。

**2016年3月期における通期の連結業績見通しとしては、売上高700億円(前年同期比9.0%増)、海外企業買収に伴う、のれん、無形固定資産の償却費35億円をまかなうため、償却前の営業利益は67億円(同36.9%増)を見込んでいます。償却後の営業利益は32億円(同34.6%減)、経常利益30億円(同11.8%減)、当期純利益10億円(同20.1%減)を見込んでいます。**

## 2016年3月期の業績予想(単位:百万円)

	2016年3月期 予想	2015年3月期 実績
売上高	70,000	64,237
のれん等償却前営業利益	6,700	4,895
のれん等償却	3,500*	—
のれん等償却後営業利益	3,200	4,895
経常利益	3,000	3,400
当期純利益	1,000	1,251
1株当たり当期純利益(円)	44.74	55.64

\* 積極的に行った海外企業買収に伴う、のれん、無形固定資産の償却。

## 株主様への還元について

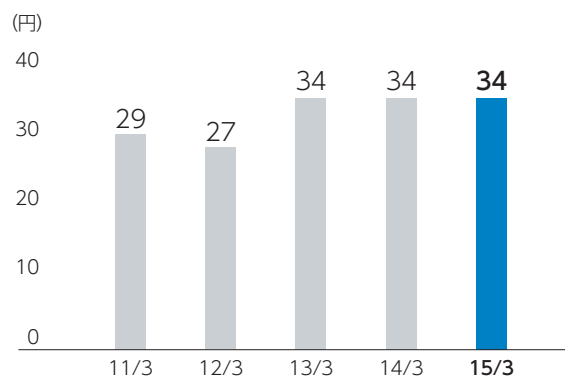
株主様への持続的な利益還元に向けて配分に関する方針を変更しました。

最後に、当社は株主の皆様への適切な利益還元を重要な経営課題の1つとして位置づけています。持続的な利益還元と会社の成長を実現していくため、2015年5月13日開催の取締役会において利益配分に関する基本方針を変更しました。

株主配当については、中期的な経営状況の見通しを考慮した上で、連結当期純利益の30%以上に相当する額を配当金総額とします(ただし、会計・決算・税務上の特殊要因を勘案の上加減算することがあります)。これを期末時点で保有する自己株式数を差し引いた期末発行済株式数で除した金額を配当金として決定し、年1回実施する方針です。この方針に沿って、**2015年3月期の1株当たりの配当は、前期に引き続き年間34円(配当性向61.1%)とさせていただきました。**2016年3月期の1株当たりの年間配当は未定ですが、方針に基づいて実施する予定です。決定しましたら、リリースを行うとともにホームページ上でお知らせします。

今後も、株主の皆様への積極的な利益還元に努め、株式価値と資本効率の向上に努めてまいります。株主の皆様には、引き続きご支援とご指導を賜りますようお願い申し上げます。

## 1株当たり配当金推移







## メガチップスの ASSP 製品紹介

### Sensor Hub (センサハブ) LSI [frizz] を使うと

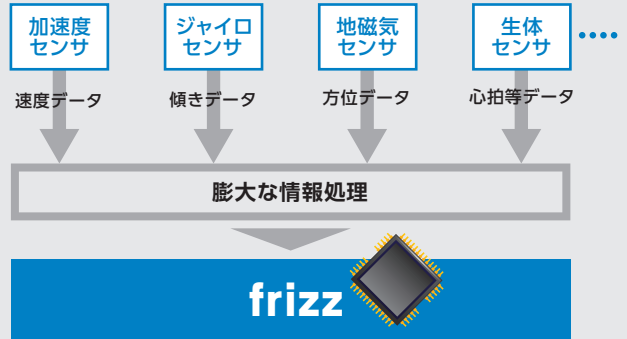
# スマートフォンやウェアラブル機器で位置や体の動き、健康状態がわかるようになります。



歩数や移動した距離を確認したり、自分の現在位置を把握したりすることができるスマートフォンやウェアラブル機器が増えています。こうした機器には、多様なセンサから取得する情報の複雑な処理が求められますが、メインプロセッサが行うと機器の消費電力が大きくなり、バッテリーの持ちが悪くなってしまいう課題があります。

メガチップスが提供する[frizz] (フリッツ)は、いくつものセンサから取得したデータの高度な演算処理を低消費電力で実行し、ユーザーの現在位置や動き、脈拍など身体の状態を知ることができるさまざまな機器の開発に貢献します。ヘルスケアや高齢者、子どもの見守りなど、少子高齢化社会において大きな伸びが見込まれる分野への幅広い利用が期待されます。

### Sensor Hub LSI [frizz] の役割



### 消費電力が課題に

frizzは独自の設計・演算処理で、従来のSensor Hubマイコンと比べ

**1/20の消費電力**を実現!

多様なセンサを使った機能開発を強力にサポート。

### frizzの利用が期待される応用分野例

#### ナビゲーションで

—ビルや地下街の構内案内—



GPSの電波が届かないインドアや地下でも、目指す場所へと案内してくれる新しいナビを実現します。持つ人が移動する速度や方向を把握するさまざまなセンサからの情報を高度に処理し、今後の普及が見込まれる「歩行者推定航法(PDR)」をサポートします。

#### フィットネスで

—ランニングコーチ—



身につけている人の移動速度推定、移動距離推定や脈拍測定などに対応します。走行時の腕振り不足や速度低下を検知してアラートを発してくれる、ランニングコーチのような機器も実現します。

#### ヘルスケアで

—屋内の高齢者の見守り—



高齢者の健康状態や行動を遠く離れた場所から見守るシステムに应用することができます。「倒れる」といった異常姿勢をキャッチする転倒検出などにより、安全・安心を提供します。

## 画像・音声・通信分野の独自技術をコアに 独創的な製品を創出しています

メガチップスは、独自のコア技術を活用して顧客ニーズに応えるとともに、他社製品との差別化を実現する応用技術の研究開発に取り組んでいます。また、こうした研究開発による優位性と独自性を確保するために、知的財産の権利化を推進しています。

### 2015年3月期 研究開発の主な成果

#### LSI製品の開発

- 携帯型ゲーム機向けゲームソフトウェア格納用LSI
- デジタルカメラ向けシステムLSI用IP
- デジタルカメラ用LSI
- 画像処理LSI
- 液晶パネル向けタイミング・コントローラLSI
- 光通信向けIP、LSI
- 光電変換IP、LSI
- アナログフロントエンドLSI
- 920MHz帯無線LSI ✓ Pick Up
- 電源制御用LDOレギュレータ
- インテリジェント・センサハブLSI
- Smart Connectivity (DisplayPort) 製品
- MEMS タイミングデバイス

#### 基礎技術開発

- 状態推定技術
- 画像認識技術
- 車載用画像認識アルゴリズム

#### その他製品の開発

- フルデジタル映像記録・伝送システムの機能拡張およびカスタム開発
- セキュリティ用カメラシステムのラインナップ追加開発

### 知的財産戦略

ファブレスメーカーであるメガチップスにとっては、研究開発のアイデアやノウハウなどの知的財産が事業競争力の源であり、知的財産を権利として保護することが競争力や成長力の向上につながります。

2015年3月期は、開発中製品に関するものはもとより、従来からの画像認識技術、ゲーム機向けセキュリティ向上技術に加え、ウェアラブル機器・センサ関連技術、状態推定・ロボット向け応用技術、3次元計測応用技術などについても新たに特許出願を実施しました。

### 研究開発方針

画像・音声・通信分野のシステムLSI、IoT分野の特定用途向け製品および当該製品を利用したソリューションを提供すること

### Pick Up

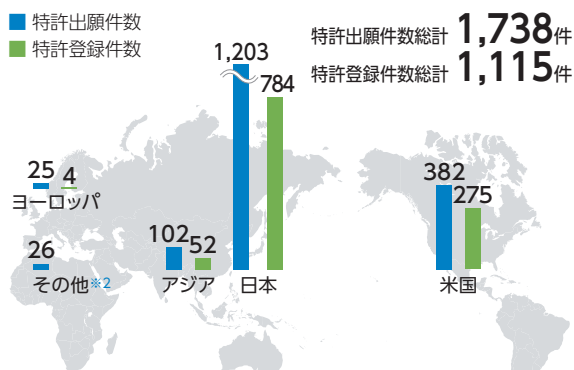
#### 低消費電力で高精度な無線通信を実現するSubGHz帯無線LSI [BlueChip Wireless]

低消費電力で長い通信距離をカバーするSubGHz (920MHz) 帯無線LSI [BlueChip Wireless]は、ビルや工場における照明・空調制御や消費電力計測などのシステム構築を配線工事なしで実現します。

2014年12月には、オフィス内の調光機能付き照明器具をスマートフォンやタブレット端末からきめ細かく制御できる無線個別調光照明制御システム(株式会社NTTファシリティーズ様)に採用されました。



### 世界各地域別の特許出願件数・特許登録件数<sup>※1</sup>

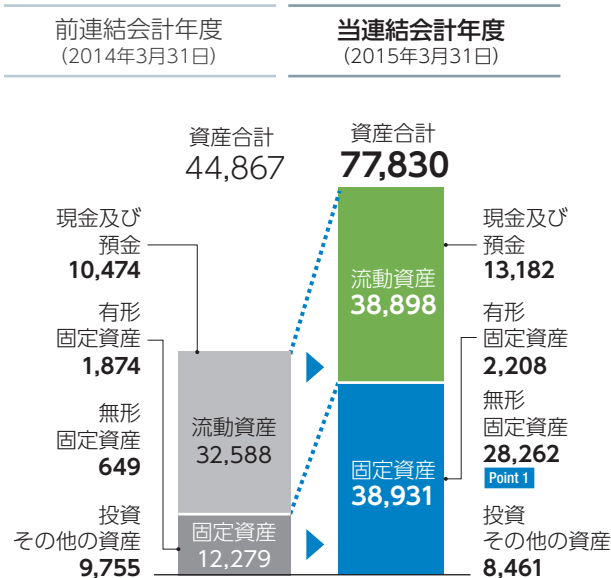


※1 件数は2015年3月末日現在の累計です。

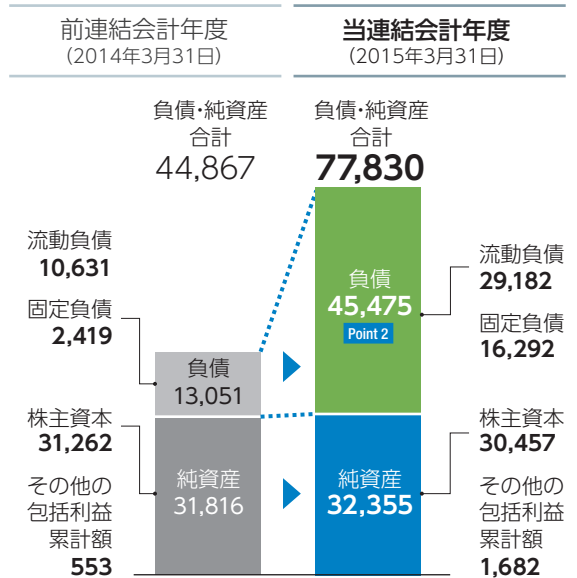
※2 特許協力条約に基づいて国際出願したもので、将来当社の海外事業展開・製品展開に応じて複数の同条約加盟国で権利取得の審査手続きが行えるものです。

連結貸借対照表

(単位:百万円)



(単位:百万円)



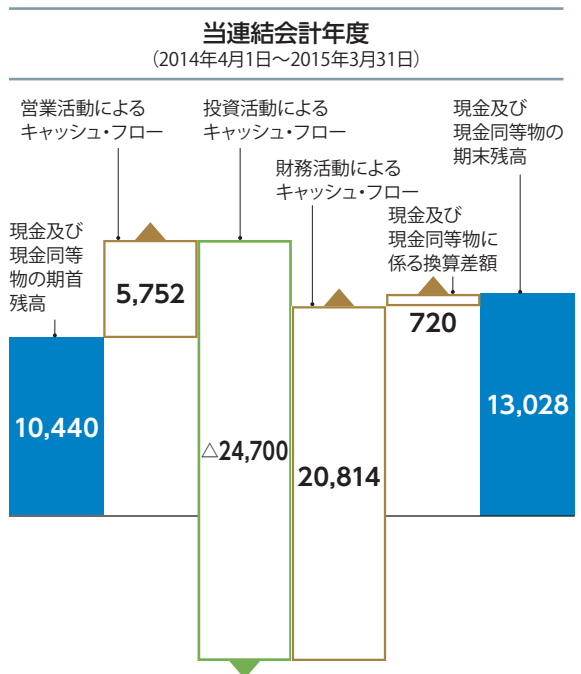
損益計算書および包括利益計算書

(単位:百万円)

科目	前連結会計年度 (2014年3月31日)	当連結会計年度 (2015年3月31日)
売上高	58,469	64,237
売上総利益	15,120	18,974
販売費及び一般管理費	10,947	14,078
営業利益	4,173	4,895
営業外収益	184	64
営業外費用	80	1,559
経常利益	4,277	3,400
特別利益	588	0
特別損失	451	168
税金等調整前当期純利益	4,413	3,231
法人税等	△ 312	2,050
当期純利益	4,725	1,251
その他の包括利益	288	1,154
包括利益	5,014	2,335
(内訳)親会社株主に係る包括利益	5,014	2,380

キャッシュ・フロー計算書

(単位:百万円)



Point 1 無形固定資産

Smart Connectivity (DisplayPort) 事業の買収およびSiTime社の買収等に伴い、のれんが194億9千8百万円、技術資産が69億7千9百万円それぞれ増加しました。結果、無形固定資産は前期末比276億1千3百万円の増加となりました。

Point 2 負債

運転資金目的およびSiTime社の買収等に伴い、短期借入金が117億1百万円、長期借入金(1年内返済予定を含む)が111億6千6百万円それぞれ増加しました。結果、負債は前期末比324億2千3百万円の増加となりました。

<b>会社商号</b>	株式会社メガチップス	<b>所在地</b>	本社	〒532-0003 大阪市淀川区宮原1丁目1番1号 新大阪阪急ビル
<b>英文商号</b>	MegaChips Corporation			TEL. 06-6399-2884 (代表)
<b>設立</b>	1990年4月4日			
<b>上場</b>	東証1部(証券コード6875)	<b>東京事業所</b>		〒102-0082 東京都千代田区一番町17番地6 一番町MSビル
<b>資本金</b>	4,840百万円	<b>幕張事業所</b>		〒261-8501 千葉県美浜区中瀬1丁目3番地
<b>従業員数</b>	942名(2015年3月31日現在 連結)	<b>海外拠点</b>		MegaChips Technology America Corporation SiTime Corporation MegaChips Taiwan Corporation Modiotek Co., Ltd. MegaChips Corporation, China India Branch
<b>事業内容</b>	システムLSI、自社システムLSIを使った 電子部品およびシステム製品の設計・ 開発・製造(外部委託)・販売			

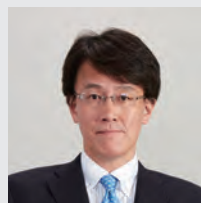
役員



代表取締役社長  
**高田 明**  
(たかた あきら)



取締役副社長  
**松岡 茂樹**  
(まつおか しげのり)



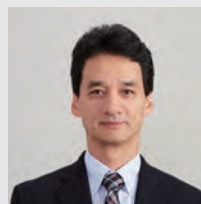
専務取締役  
**藤井 理之**  
(ふじい まさゆき)



専務取締役  
**吉清 恭一**  
(きよせい きょういち)



取締役  
**肥川 哲士**  
(ひかわ てつお)



取締役  
**佐々木 元**  
(ささき げん)



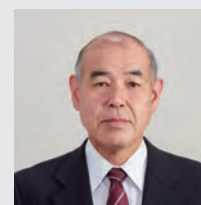
社外取締役  
**赤星 慶一郎**  
(あかほし けいいちろう)



社外取締役  
**游 敦行**  
(いろう どんしん)



社外取締役  
**冨永 千里**  
(とみなが ちさと)



常勤監査役  
**角 正**  
(すみただし)



社外監査役  
**中西 藤和**  
(なかにし ひろやす)



社外監査役  
**小原 望**  
(おはらの のぞむ)



社外監査役  
**北野 敬一**  
(きたの けいいち)

※ 取締役 赤星 慶一郎氏、游 敦行氏および冨永千里氏は、会社法第2条第15号に定める社外取締役です。  
※ 監査役 中西 藤和氏、小原 望氏および北野 敬一氏は、会社法第2条第16号に定める社外監査役です。

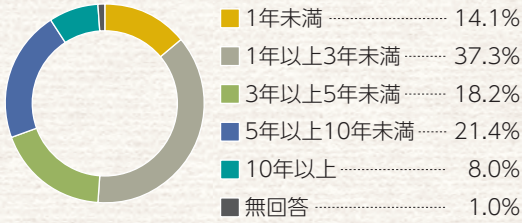




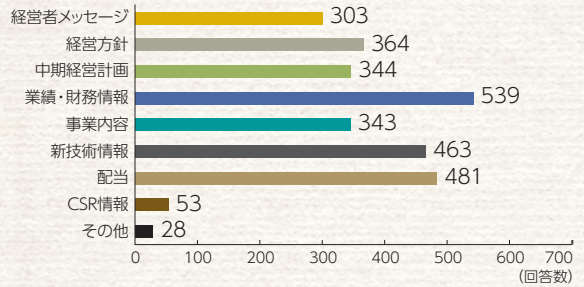
## 株主様へのアンケート結果のご報告

「MCCIR vol.22」誌上のアンケートにおいて、株主の皆様からご回答いただきました貴重なご意見は、今後の経営およびIR活動に活かしてまいります。

### Q1 当社株式の保有期間は？

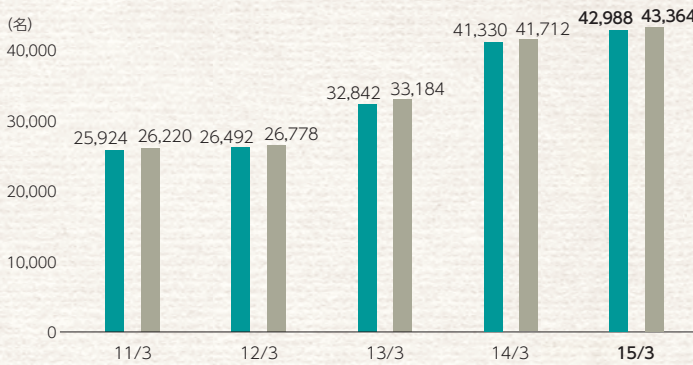


### Q2 今後、詳しく掲載を行って欲しい情報は何でしょうか。(複数回答可)

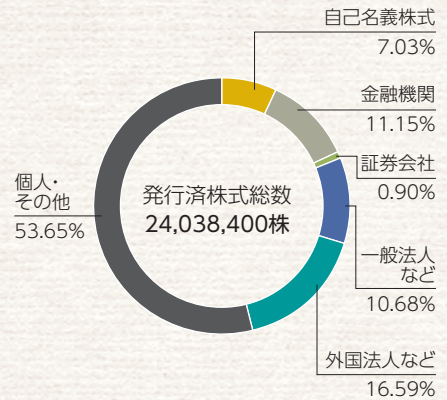


## 当社の株主構成

### 株主数推移



### 所有者別株式分布



## 株主様からの声

### 株主通信に対するご意見

- 「社長に聞く成長戦略」では具体的な経営プランが語られていて良かった。
- 特集がわかりやすく、身近なところに製品が使われていることを知って驚いた。
- 「教えて!メガチップス」でのLSIの説明がわかりやすかった。
- “ファブレス”についてもっと教えて欲しい。
- 利益の増減理由について詳しく説明して欲しい。

### その他ご意見

- 宛名シールのはがしやすさ、開封のしやすさなど、エコや個人情報への配慮に好感が持てる。
- 関東圏でのIR活動(IRフェア出展など)を積極的に行って欲しい。
- 会社の知名度向上に努めてもらいたい。
- 株主優待のカatalogの簡素化。(環境に対する検討を)
- 株価上昇の対策をお願いしたい。



## 今後の活動予定(IRカレンダー)

### 2015年

7月  
アニュアルレポート  
(英文版)発行  
期末MCCIR発行

ホームページ掲載情報  
●アニュアルレポート  
(英文版)  
●期末MCCIR

7月31日  
第1四半期  
決算発表

ホームページ掲載情報  
●最新決算報告  
●決算短信  
●決算説明会資料  
●第1四半期報告書\*  
※8月11日発行予定

10月30日  
第2四半期  
決算発表

ホームページ掲載情報  
●最新決算報告  
●決算短信  
●決算説明会資料  
●第2四半期報告書\*  
※11月12日発行予定

12月  
中間MCCIR発行

ホームページ掲載情報  
●中間MCCIR

### 2016年

1月29日  
第3四半期  
決算発表

ホームページ掲載情報  
●最新決算報告  
●決算短信  
●決算説明会資料  
●第3四半期報告書\*  
※2月12日発行予定

最新の決算情報は「IR資料室」の「最新決算報告」ページでPDF資料を含めご覧いただけます。

メガチップス 最新決算

検索



<http://www.megachips.co.jp/irinfo/resource/account.html>

株主総会に関する情報は「株式情報」の「株主総会」ページですべてご覧いただけます。

メガチップス 株主総会

検索



<http://www.megachips.co.jp/irinfo/stockinfo/meeting.html>

## 2015年度 株主優待について



株式会社大丸松坂屋百貨店カタログ



ヨッシー New アイランド\*  
© 2014 Nintendo



マリオvs.ドンキーコング  
みんなでミニランド\*  
© 2015 Nintendo

メガチップスでは、株主の皆様の日頃のご支援に対して感謝の意を表するため、株主優待制度を設けています。本年も2015年3月31日現在で当社株式を100株(1単元)以上ご所有の株主様に心ばかりの品を贈呈させていただきます。本年度は、株式会社大丸松坂屋百貨店の提供する商品カタログの中から、希望される商品1点(3,000円相当)、または任天堂株式会社製ニンテンドー3DS™専用ソフトの中から1点をお届けします。なお、株主様への株主優待カタログは6月上旬に発送しています。

※ニンテンドー3DSは任天堂の商標です。

**ご注意** ▶ 株主優待は、毎年3月31日現在の株主名簿に記録された、100株(1単元)以上ご所有の株主様を対象に行っています。ご転勤などでご住所を変更される場合は、証券会社等口座開設先に必ず住所変更届をご提出ください。株主優待に関する当社からのご案内書をお届けできない場合が少なからず発生しています。なお、株主優待品につきましては、申込受付期日を過ぎますとお受けできなくなりますので、ご注意ください。

### 優待品のお申し込みや配送に関するお問合せ

メガチップス株主優待事務局

フリーコール: 0120-995-170

受付時間: 9時~17時(日・祝を除く)



## Topics 当社ホームページ「製品情報」リニューアルのお知らせ

「製品情報」ページを全面リニューアルしました。当社が取り扱うASSP製品の特徴や応用分野例などをイラストや動画でわかりやすくご紹介しています。スマートフォンにも対応していますのでぜひご覧ください。

<http://www.megachips.co.jp/product/index.html>



製品情報ページトップ



[frizz]紹介ページ

## 株主メモ

決算日	毎年3月31日
定時株主総会	毎年6月
基準日	毎年3月31日
配当基準日	毎年3月31日 この他、取締役会の決議により、予め公告して基準日を定めることができます。
1単元の株式数	100株
株主名簿管理人	三菱UFJ信託銀行株式会社
同事務取扱場所 お問合せ先	〒541-8502 大阪市中央区伏見町三丁目6番3号 三菱UFJ信託銀行株式会社 大阪証券代行部 電話：0120-094-777(通話料無料) 受付時間：土・日・祝祭日等を除く平日9:00～17:00
公告の方法	電子公告により行います。 公告掲載URL <a href="http://kmasterplus.pronexus.co.jp/main/corp/6/8/6875/index.html">http://kmasterplus.pronexus.co.jp/main/corp/6/8/6875/index.html</a> (ただし、電子公告によることができない事故、その他のやむを得ない事由が生じたときは、日本経済新聞に掲載します。)

(ご注意)

1. 株主様の住所変更、買取請求その他各種お手続きにつきましては、原則、口座を開設されている口座管理機関(証券会社等)で承ることとなっています。口座を開設されている証券会社等にお問合せください。株主名簿管理人(三菱UFJ信託銀行)ではお取り扱いできませんので、ご注意ください。
2. 特別口座に記録された株式に関する各種お手続きにつきましては、特別口座の口座管理機関の三菱UFJ信託銀行にお問合せください。なお、三菱UFJ信託銀行全国各支店にてもお取次ぎします。
3. 未受領の配当金につきましては、三菱UFJ信託銀行本支店でお支払いします。

Q1. 株主通信「MCCRI」vol.23の内容で、興味を持たれた記事・コーナーをお選びください。(複数回答可)

- P1-2 プロフィール  P3 財務ハイライト  
 P4-7 社長が語る業績と戦略  
 P8 Close Up メガチップスのASSP製品紹介  P9 研究開発  
 P10 決算レポート  P11 会社情報/役員構成  
 株主様ラウンジ(株主様からの声)  
 株主様ラウンジ(IRカレンダールーム)  
 株主様ラウンジ(2015年度株主優待について)  
 株主様ラウンジ(Topics)

Q2. 今後、詳しく掲載を行って欲しい情報は何でしょうか。(複数回答可)

- 経営者メッセージ  経営方針  中期経営計画  
 業績・財務情報  事業内容  新技術情報  配当  
 CSR情報  その他( )

Q3. 今後強化して欲しいIR活動・ツールは何でしょうか。(複数回答可)

- 当社ウェブサイト  MCCRI(株主通信)  
 個人投資家説明会  IRフェアへの出席  株主総会  
 IR雑誌や新聞への掲載・広告出稿  
 その他( )

Q4. 当社ホームページをご覧になったことはありますか?  
 ある  ない

Q5. 株主通信「MCCRI」のご感想またはIR活動へのご要望をお聞かせください。

アンケートにご協力いただきありがとうございます。ございました。

アンケートにご協力ください。

IR活動の充実に向け  
株主様アンケートにご協力ください

(2015年8月15日)まで受付

郵便はがき

261-8790

料金受取人私郵便



千葉県千葉市美浜区中瀬1-3 幕張テクノガーデンB棟5F

株式会社メガチップス

広報課 ハガキ集計係

差出有効期間  
平成27年8月  
31日まで  
(切手不要)



株主様アンケート

お手数ですが、ハガキにご回答の上、ポストへご投函くださいますようお願いいたします。

株主様のプロフィールをご記入ください。

- 性別：  男性  女性
- 年齢：  10代  20代  30代  40代  50代  60代  70代～
- 職業：  会社員  自営業  公務員  主婦  その他( )
- 当社株式保有数：  
 単元未満(100株未満)  100-199株  200-299株  
 300-399株  400-499株  500-999株  1,000株以上
- 当社株式保有期間：  
 1年未満  1年以上3年未満  3年以上5年未満  
 5年以上10年未満  10年以上
- 居住地：  
 北海道  東北  関東  中部  近畿  中国  四国  
 九州・沖縄

※ご記入いただいた情報は、アンケート集計以外の目的には使用いたしません。  
※2015年8月15日までにご投函ください。



キリトリ線

ハガキをご投函の際は、点線にそって切り離してください。

2015年3月期のご報告  
2014年4月1日～2015年3月31日

Mega Chips

株式会社メガチップス

〒532-0003 大阪市淀川区宮原1丁目1番1号 新大阪阪急ビル  
TEL.06-6399-2884(代) FAX.06-6399-2886

<http://www.megachips.co.jp/>



見やすく読みまちがえにくい  
ユニバーサルデザインフォント  
を採用しています。



この報告書は植物油インキを  
使用して印刷しています。